

平成 25年 7月 5日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 福井県立藤島高校 酒井 治
2. 講師氏名: Gyorgy Bazar 博士
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 25年 7月5日 (金) 16:30 ~ 18:15
5. 参加生徒: 1年生 0人、 2年生 3人、 3年生 7人 (合計 11人)
備考: _____
6. 講演題目: (英文) How agriculture helped space science

(和文) _____
7. 講演概要: まず「研究」―「開発」―「生産」―「消費」のサイクルの提示により、それぞれの分野が情報を共有していくことの大切さが説明された。その上で現在世界の問題の一つとして「食糧問題」があり、発展途上国の人口増加と経済成長により、それを解決することは必要不可欠なことであることを、生徒達にも分かりやすく解説された上で、博士が取り組んでいる「近赤外線」を使った研究が食料を効果的に生産する上でどのような役割を果たしているかが説明された。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 5 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
学校担当者が必要などところを行った。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
特になし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: